

野田 九条通信

2011年10月 70号

「野田・九条の会」事務局

TEL 7122-0502

野田九条の会ホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>

さよなら原発 1000 万人署名に取り組みます

野田・九条の会は大江健三郎さんなどが呼びかけている「さよなら原発1,000万人アクション」に賛同し、衆参両院議長、内閣総理大臣宛の署名運動に取り組みむことを決めました。住むところを奪われた福島の人々はもちろん、被爆を強いられる労働者、健康への不安を何年も抱えなければならぬ私たち、こんなことはもうゴメンです。「原発はいらない」という意思を具体的に表わしたいと思います。取り扱い団体として印刷した署名用紙をこの九条通信と一緒に1枚ずつ配布します。ご近所や知り合いの方に呼び掛け、署名をお願いしてください。第1次集約11月末とします。事務局またはこの通信を配布している担当者にお渡しくたさい。

脱原発の意志を知らせる

『さようなら原発』集会

9月19日東京明治公園で開かれた5万人大集会には、野田・九条の会からも、16人が参加し、予想を超えた6万人の人々と一緒にデモ行進をしました。公園に入りきれない人があふれ、公園内も地面が見えないほどの人の波に、原発いらぬという市民のうねりを感じました。



野田・九条の旗を持って行進

野田・九条の会 秋の行事 映画上映会

「ミツバチの羽音と地球の回転」

11月23日(水・祝) 2回上映

①10時～ 中央公民館講堂

②14時～ 南コミュニティーセンター講堂

協力券 大人700円 ・18才未満 300円

野田・九条の会は、毎年秋に講演会などのイベントを行い、憲法や平和への理解を深める取り組みをしています。今年は、原発建設反対に立ち向かっていく瀬戸内海の祝島を描いたドキュメンタリー映画「ミツバチの羽音と地球の回転」を上映します。漁業と農業の気候温暖な島に戻って生きていく若者を中心に反対運動を淡々と続けるたくましいおばあちゃんたち。場面は変わってスウェーデンでの自然エネルギーで持続可能な社会を目指す取り組みも紹介。原発がなくても自然とともに暮らす道があることをこの映画が教えてくれます。このイベントのチラシの片面に、野田・九条の会からのアピールを印刷し、新聞折り込みなどで3万枚配布する予定です。この費用に皆様からの今年の賛同金を使わせていただきます。協力券は配布担当者などが持っています。お早めにお求めください。ご協力をお願いいたします。



九条の眼

野田首相は、ニューヨークの国連本部で「日本は原発の安全性を世界最高水準に高める」「原子力利用を模索する国々の関心に答える」と演説しました。

福島原発がまだ収束のメドも立っていない中でこうした発言は、各国の首脳にどう受け止められたのでしょうか。

■放射性廃棄物をどうするのだろう？

原発がどれほど高水準になったとしても、その廃棄物を安全に処分する術を持たなければ人類は放射能の恐怖にさらされ続けることになります。未来に負の遺産を残し続けることになるのです。

福島第1原子力発電所における事故を受けて、ドイツは2022年までに17基ある全ての原発閉鎖を正式に決定しましたし、スイスも2034年までに、「脱原発」を実現することを決定しました。世論が政府の原子力政策にNOを突きつけたからです。

国の財源を使って栄華を極めたルイ15世の寵姫ポンパドール夫人は、「我が亡き後に洪水よ、来たれ！」と言い放ったとされています。要は、自分が生きているときにしわ寄せが来なければ良い。後の代にその尻拭いが来ようが知

ったこっちゃないという意味ですが、現在の我が国の政財界首脳部もポンパドール夫人と同じ気持ちでいるのでしょうか？ そうだとしたら何とか気持ちを入れ替えて欲しいものです。

■再生可能エネルギー導入へ

独立行政法人科学技術振興機構（JST）の元理事長・北澤宏一さんは超伝導の研究で著名な方です。北澤さんは「現在30%を占めている原子力発電を、再生可能エネルギー発電に置き換えることは十分に可能である」と述べています。そして世界は今や、原発から太陽光や風力のような再生可能エネルギー導入に向けて舵を切っているというのです。

太陽光や風力のような再生可能エネルギーは設備投資にお金がかかるので始めは割高だけれど、その設備も、需要がふえれば安くなるのです。北澤さんは言います、「東北の復興地域に太陽光パネルを乗せるなどの再生可能エネルギー産業を投入すれば相当の雇用もうみだせるはず。そして海岸と洋上には風力発電所を作るのです。日本は再生可能エネルギーの導入は遅れていますが、技術は良いものをもっているのですから、要はやる気ですね。」

子孫につけを回すのではなく、希望の持てる世界へ舵を切ることこそ、いま私達のなすべきことではないでしょうか。（けやき9条左巻恵美子）

名作映画**無料**上映会

1部. 『祝（ほうり）の島』

2部. 『わしも死の海におった』

日時:10月16日(日)

受付:12時30分～

上映:1部は13時～14時45分

2部は14時50分～15時50分

意見交換:16時～16時45分

場所 南部梅郷公民館講座室

主催:野田南地域9条の会

問い合わせ先:大井 (tel 04-7124-9206)

ドキュメンタリー映画上映会

『六ヶ所村ラプソディー』

日時:10月30日(日)

受付:12時30分～

上映:13時～15時

意見交換:15時10分～16時

場所 けやきのホール4階研修室

主催:野田けやき9条の会

問い合わせ先:田中 (tel 04-7122-0502)